

第3回岐阜県都市公園活性化懇談会 議事要旨

日時：平成28年7月1日（金）14時00分～15時30分
場所：岐阜県庁 4階 特別会議室

1 開会

○座長

- ・前回、総論について議論させていただき、了解いただいたと考えている。
- ・花フェスタ記念公園の取組みについて、様々な意見を皆様から頂戴し、それをもとに事務局が再整理をし、さらに養老公園、世界淡水魚園、平成記念公園について、資料をまとめた。

2 事務局説明

○県

- ・資料に基づき、各公園の取組みについて説明

3 意見交換

○座長

- ・今回の懇談会の論点は、各公園の基本コンセプトについて確認いただくことであり、皆さんにはこれについての意見をお伺いしていきたい。

○委員

- ・花フェスタ記念公園について、世界的なバラ公園の確立とあるが、具体的に何が世界的なのか明らかにする。来た人が楽しくなるようなバラの見せ方に出来るよう工夫が必要。日本全国にバラ園はあるため、こんなバラの見せ方があるのか、というアピールの要素を強みにしたい。

○県

- ・例えば、開花時期をそろえたバラの配置、壁面を活かした修景など、本数の多さを活かした見せ方を工夫する。また、バラの株も老朽化しているため、再配置等含めて検討していきたい。

○委員

- ・コンセプトは公園の性格を決定する上でいちばん重要な要素である。国内外に発信する際には、一言、二言でアピールできるキャッチコピーを作ることも必要である。
- ・さらに、4つの県営公園を括ったコンセプトを設定し、どのように発信するかも重要である。
- ・ディティール部分であるサービスの要素は、後から盛り込めばよい。

○座長

- ・国においても、国立公園を世界水準の「ナショナルパーク」としてのブランド化を図ることを目標とした議論が出ている。
- ・茨城県の国営ひたち海浜公園は一望千里の花を見るために外国人来園者が増加している。公園のブランディングが非常に重要である。
- ・岐阜県は日本で最初の観光ルートである昇龍道に位置づけられているが、南の方はあまり栄えていない。

○委員

- ・養老公園について、養老改元 1300 年祭のコンセプトは、「健康」「長寿」を願う清流の原点として、「全国から人が集うまち養老町」としている。養老鉄道から歩いて約 2.5 キロに滝があり、周囲を山々に囲まれた立地等、自然と歴史もあるが、健康長寿の視点も取り入れてほしい。

○委員

- ・岐阜県内の公園のポテンシャルは高いが、魅力が徐々に薄れてきているのが現状である。一方、2020 年に開通予定である東海環状自動車道西回りにより、各公園をいかにして東海環状自動車道なり東海北陸自動車道なりと結びつけるかということで、動線を含めて検討することが必要。
- ・「清流の国ぎふ」として、流域にある様々な魅力を盛り込んで、公園の魅力アップを図っていく。
- ・家族や子ども連れの団体が安心して利用できる公園を実現してほしい。また、市民ボランティアに運営の一部を任すことも考えられる。

○知事

- ・基本コンセプトについて、平成記念公園の「里山」はわかりにくい。
- ・4つの各公園コンセプトを一言で言ったらどうなるか。また、それらをうまくつなげて組み立てることで、わかりやすい戦略になるのではないか。

○委員

- ・コンセプトを決める際は、主たる構成要素を列挙して優先順位をつける作業が必要である。花フェスタ記念公園はまずはバラ、そして国際園芸アカデミーとの連携である。
- ・養老公園は歴史、自然、文化、アートとあるが、メインは何かわかりづらい。
- ・世界淡水魚園は、世界農業遺産や国営公園から長良川流域の農業や水というテーマに結びつく。平成記念公園は森林文化アカデミー、匠の技等で特色づけたらどうか。

○委員

- ・各公園で来客層のターゲットを明確にし、マーケティングするための魅力づくりが必要である。

○委員

- ・集客にはビジュアル的なインパクトや見所をどこにもっていくかが重要である。花フェスタ記念公園は、大きい見所を訴えるインパクトのあるものがほしい。養老公園は歴史街道や旅などの行動と関連付けさせる。世界淡水魚園は現在の主な来園者が低年齢のため、展開方法をもう少し柔らかいものにするとうい。平成記念公園は、行けば何が待ち受けているか分かりやすくしたらよい。

○委員

- ・各公園のコンセプトが散漫になっているため、一言で表せるものを検討する。特に「世界」という言葉を使って世界に誇るイメージ作りをすることにより、「清流の国ぎふ」から流れる世界につながる清流回廊が実現できるのではないか。
- ・花フェスタ記念公園に関して、最も多い来園者層が漫画「ベルサイユのばら」世代であり、漫画のコンセプトのひとつである「乙女の夢」をヒントにイベントや見せ方を展開していくことも考えられる。

○委員

- ・ターゲットである子育て世代や現場の人々にとって、わかりやすい言葉を使用してほしい。

○委員

- ・コンセプトを検討するにあたり、現在の利用者層に合うコンセプトにするか、新しいターゲットを定めた上でのコンセプトにするか合意が必要である。

○委員

- ・コンセプトが子ども達を連れて行きたくなるような内容ではない。子どもを意識したコンセプトや表現を検討してほしい。

○委員

- ・花フェスタ記念公園については、花がもたらす公園の良さを「世界一」「日本一」と言い切ることで、はっきりさせる。
- ・感動や驚きをもたらす見せ方を工夫するとよいのではないか。

○座長

- ・市場にどう訴えていくかも重要である。県営公園である以上、公園の規模は大きいものであるため、広域的なプロモーション圏域も想定し、岐阜県全体で広域的戦略を検討していただきたい。
- ・人々の気持ちをつかむような戦略的見せ場「ビューポイント」の検討が必要である。
- ・魅力づくりは大事であるが、その魅力に「磁力」があるかどうか、また、「磁力」を作り出す仕組みづくりが重要である。

○委員

- ・平成記念公園において、里山体験、自然共生は市の取り組みと合致しており、体験を通じた自然や文化の再認識と、実践的な環境教育の拠点は、是非とも取り組んでいきたい。
- ・県内には、素晴らしい資源が多くあるが、それらを公園内で体験させるにあたり、いかに本物を感じさせるようにするかが重要である。

○委員

- ・世界淡水魚園において、国営公園との関連性や、公園のすぐそばを流れる木曾川について、あるいは、岐阜県と愛知県との県境であることにより、岐阜県の情報発信の拠点、玄関口としての役割についてもコンセプトに含めてはどうか。

○座長

- ・4公園を統一するコンセプトには賛成。例えば、歴史・風土・環境、アート・技術、年齢層、人々の暮らし等の視点があり、岐阜県にはそれらの多様な要素に対するそれぞれの答えがある。
- ・それぞれの公園が県土の魅力を一言で語れるようなコンセプトを検討する必要がある。
- ・アジア系外国人は、団体客が多く、来日が一時的なものとなり、不安定である。また今後は、一人当たりの観光消費単価を上げていく必要があることに加え、リピーターを増やす構造をどう作るかが課題となる。
- ・日本のランドスケープはモザイクのようであり、数km進むと景色が変化していくことが魅力である。
- ・インバウンド戦略の一方、地元のリピーターを増やすことが必要。

○委員

- ・県営公園単体の集客だけでなく、公園を核としたそのエリアに集客することも重要である。エリア毎

のコンセプトの主体である公園を核として、来園者の滞在時間を長くさせて、周辺を見て回ることでお金を落とす仕組みづくりを検討する。

○座長

- ・現在の観光スタイルは、あらかじめ決められたソフトを活用してもらう「ガラケー型」ではなく、自分が興味のあるものに自ら参画して魅力を高めていくことができる「スマホ型」である。
- ・子育て世代の意見として、子どもを自然の中で遊ばせたい思いがある。
- ・県営公園は、広域的、戦略的なサービスを提供する必要がある、そういった役割分担を市町村や国と調整することも大事である。

○知事

- ・平成記念公園で「昭和」というコンセプトを変更するかどうか検討が必要。

○委員

- ・平成記念公園については、最近羊の毛刈り、マラソン大会等体験型のイベントのおかげで来園者は増えているが、何でもありの公園になっている。「昭和」という設定もわかりづらく、名前は変えていただいた方がよいのではないか。
- ・里山という点では、「森のようちえん」や林業体験も人気のイベントである。

○座長

- ・世田谷の公園で、野鍛冶が流行っており、参加する地域住民が増えている。そこでは里山バイオマスの活動があり、暮らしと密接な関係を持っており、平成記念公園について考える上で参考になるのではないか。

○委員

- ・明治村、大正村、昭和村と並べるときがあるが、昭和村と明治村は別物として考えないといけない。明治村には本物の文化財が多く残っており、そのことが非常に価値がある。本物があるところに人が集まる。

○委員

- ・利益の上げ方の検討が必要である。時間消費と売り上げは連動する。
- ・平成記念公園は入場料と内容のバランスが悪い。
- ・商品価値が不明確であり、的が絞れていない。

4 まとめ

○座長

- ・コンセプトを分かりやすく集約して再整理する。さらに、4つの公園を統一したコンセプトが必要である。県民にとって魅力的な公園づくりと同時に、県外の人々へ向けたアピールを進めていく。

○知事

- ・公園のコアとなるものをどう作るか、検討する。
- ・「清流の国ぎふ」の中の公園としての位置づけを明確にし、それぞれの公園でのビューポイント等を次回懇談会で検討する。